

しずとも「図書館を知る」シリーズ

県立図書館 ことはじめ



よりよい静岡県立図書館を作るために

全国から見た静岡県は…

☆財政力指数 0.73596 (2013年) ← **7位**

☆人口 3,700,000人 (2014年) ← **10位**

☆面積 7,253平方キロメートル (2015年) ← **13位**

総務省統計局サイトより

県立図書館は…

蔵書冊数

全国平均	1,019,828 冊
35位 静岡県	801,679 冊

図書館費 (千円) 2016 年度予算

全国平均	234,549 千円
24位 静岡県	172,440 千円

延べ床面積

3位 岐阜県	25,206 m ²
8位 岡山県	18,193 m ²
全国平均	11,650 m ²
28位 静岡県	8,817 m ²

全国1位はどこだろう？

図書館で調べてみましょう！

「図書館見学マニュアル 都道府県立

図書館編」にも載っています！



そもそも、図書館はなぜ必要なのでしょう？

知識の泉と言われている図書館では、古今東西の様々な本との出会いがあります。これは単に読書の楽しみだけではなく、人類の英知に触れることでもあるのです。

また図書館は、国民の知る権利を保障する役割を持っています。

さらに、コピー機でおなじみのゼロックスは、発案者が図書館で文献調査をしたことから生まれました。日本でも利用者が図書館の資料・機能をビジネスに活用する事例があり、鳥取県立図書館などがHPで公開しています。

このように図書館には未来と希望が詰まっています。

参考：菅谷明子 (2003) 『未来をつくる図書館』 岩波書店

鳥取県立図書館 <http://www.library.pref.tottori.jp/business/cat/post-1.html>

県立図書館と市町の図書館は違うのですか？

市町立図書館と県立図書館では、それぞれの役割（機能）に違いがあります。県立図書館では、各市町の図書館の運営相談や、市町では購入できない専門書や貴重書の収集をしています。

県立図書館

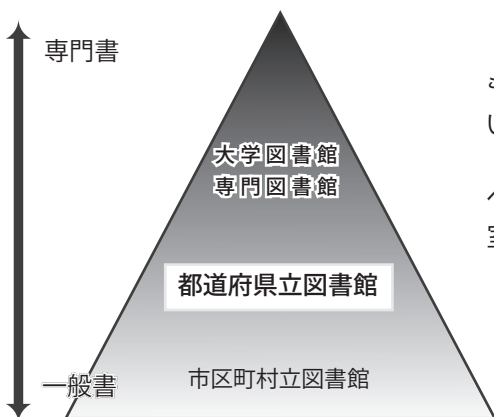
- ・市町立図書館へのサポート
運営相談・協力貸出
図書館員への研修など
- ・資料の収集・保存
専門的な資料
資料の永年保存
- ・県民への直接サービス
レファレンスサービス
子ども図書研究室

市町立図書館

- ・地域住民へのサービス
憩いの場、生涯学習の拠点
ボランティアとの協働
子どもたちへのサービス
- ・資料の収集・保存
身近な資料
児童書
- ・市内全域へのサービス
移動図書館車による巡回

このように、図書館は役割がとても大切です。
違いを知って、上手に使い分けましょう。

豊富な資料



静岡県立中央図書館では、一般資料はもとより、県内の地域資料や専門性の高い雑誌なども収集しています。

また児童書は、その年に発行されたすべてを購入しており、「子ども図書研究室」で閲覧できます。

機能と資料に命を吹き込む人…図書館司書！！

豊富な資料があっても、それを必要としている利用者に届かなくては意味がありません。その時、頼りになるのが司書です。

どのようなことを知りたいのか、どのような本を探しているのかを司書に聞けば、的確にアドバイスしてもらえます。このような水先案内を「レファレンスサービス」と呼びます。気軽にカウンターで声を掛けてみましょう。

すべてのサービスを支える建物

豊富な資料を活かすためには、それにふさわしい建物が必要になります。

現在、静岡県立中央図書館には約 82 万冊の蔵書がありますが、すでに収蔵能力の限界に近づいています。

将来を見据えた収蔵スペースを確保し、より機能的な図書館づくりを目指したいものです。

静岡県立図書館がさらに充実すると、
県内の市町立図書館も充実し、
県民の調べ・学ぶ環境がもっとよくなります！



しずとも「図書館を知る」シリーズ 県立図書館ことはじめ

発行日 2017年11月5日
制作 新たな静岡県立図書館を望む会
発行 静岡図書館友の会

〒420-0911 静岡市葵区瀬名3-16-45 田中方
携帯 080-6910-9434 (事務局)
メールアドレス sizutomo2008@yahoo.co.jp
ホームページ <http://shizutomo.sakura.ne.jp/>